

# 07年 ふらすこ 第4号

発行 2007年9-10月

発責 北海道勤医協検査技師部会

## 9月下旬！！（あれっ？10月！？）

暑かった夏も今となっては懐かしい思い出。一雨ごとに秋めいてまいりました。ナナカマドの実も紅く、天高く馬肥ゆる秋空を彩っています。

集談会の季節が間もなくやってきますが、皆さま準備の程はいかがでしょうか？抄録作りも佳境といったところ？発表される方、頑張ってくださいね。そして実行委員の皆さま、企画運営連日の会議本当にお疲れ様です。

『10月27・28日は皆で大いに盛り上げて、第16回技術系学術集談会を大成功におさめましょう！！』

## ゴメンナサイ！！（編集担当エラ）

9月中に発行できず、10月をまたいでしまいました。ほとんどが9月に作成したもので、古いニュースとなってしまいましたが、そのまま発行してしまいます。10月号は遅れないように頑張ります！！！！

（△7月のヒット川柳）  
— 検査技師 携帯文字変 兼詐欺師 —  
携帯電話やパソコンの文字変換で、笑っちゃうことよくありますよね。こちらが予想だにしない漢字変換に、思わず『歴布団一枚！』と山田君を呼びたくなります。ところで、検査技師って何と兼務の詐欺師なんですかね？

## 祝 金・銀メダル独占！！

### ～札幌技親睦会ミニバレーボール大会～

9月29日（土）北区体育館において、札幌臨床検査技師会主催のミニボール大会に参加してまいりました。

「中病選抜チーム」「中病第3選抜チーム」の2チームで出場したのですが、これがナント、優勝・準優勝を勤医協が独占することになった！！やはり、大会一週間前に行った、ROUND1での練習が効いたようです♪

決勝戦は前衛にNさん（選抜チーム監督）が立つと、威圧感のせいか今までの力が発揮できず、なんともトホホな試合となってしまいましたが、それでも「Nさんのおでこにボールを当てたら500点！」なんて軽口を叩きながらの楽しい秋のスポーツ大会でありました。  
（by 準優勝の第3選抜チーム）



第5回トータルマネージメントセミナー「マウレ」に参加しました！

勤医協中央病院 医療安全室 森下浩子

8月25日(土)札幌医科大学教育研究棟講堂第1講義室にて開催された、「マウレ」に参加してきました。去年は感染対策について発表側だったのでドキドキでしたが、今年は緊張感も無く(失礼!)、学ぶぞ!という意気込みでの参加でした。

参加の第一目的は、特別講演「プレゼンテーションの極意ー聞き手を納得させる伝え方の秘訣ー」を聞きたかったからです。仕事柄、院内の講習会で説明したり、他院の学習会講師派遣で呼ばれたりする事が多く、スキルアップにグッドタイミングでした。講師はプレゼンテーション専門コンサルタント 田中省三先生です。先生は子供の頃、すごい引っ込み思案で、人前で演説することなんて考えられなかったそうです。しかし、学生時代に「これではいかん!」と思い、一念発起して、いろいろな先生に師事し、現在はプレゼンを教える立場になり、周囲を驚かせているそうです。講演の概要は、

- ・プレゼンの3大ポイントとは、①何のために、②何を、③どのように、伝えるのか。
- ・プレゼンの組み立て方の原理・原則について
- ① PR法; Point (ポイント・意見)、Reason (理由)
- ② PREP法; Point (ポイント・意見)、Reason (理由)、Example (具体例)、Point (ポイント・意見)
- ③ SDS法; Summary (概要)、Details (詳細)、Summary (概要)
- ④ ミラクル構造; 「今までの流れ」→「現状の分析→現状の明確化」→「現状への提案」→「今後の展望」。ミラクル構造に盛り込む内容; 具体例、比喩、引用、数字・データ、エピソード、台詞や感想、実績など
- ・話す時間や分量に応じて、使い分ける。

PR法<PREP法<SDS法<ミラクル構造

- ・パワーポイントなどの作り方のコツ (あくまでも、ひとつの例)
- ① タイトル&サブタイトル 「早く聴きたい」と思ってもらうこと。
- ② 一番伝えたい事を、ズバリ提示する。今からのプレゼンを聴くと、どのようなメリットがあるのかを提示し、「もっと聴きたい」と思ってもらう。
- ③ ミラクル構造で、全体像「目次(メニュー)」を示し、
- ④ ミラクル構造を使う。
- ⑤ ラスト 一番大切なポイントを再度繰り返す + 行動への呼び掛け
- ⑥ ご静聴、ありがとうございました!

今まで、講義や講演のスライドを我流で作成していましたが、聞き手の立場に立って作成するための原理・原則があるのを学びました。講演の中で、「今日学んだ事は、3日経つと74%忘れるが、誰かに教えると90%残る」と言われたので、早速帰宅してから、講師活動のある夫と大学でパワーポイントを活用している娘に伝達しました。そして5日後に開催された苫小牧病院看護師復職支援セミナーで実践してみたところ、これまでの講演より、流れがスムーズで、聞き手が理解しているのが実感できました。

もう一つの講演「Westgardのマルチルールについて」は非常に難しく、難解でした。講師はシスメックス株式会社 学術情報部 新改悦郎先生です。1981年に発表された制度管理に関するルールで、今後、日臨技でもこのルールを導入するとのこと。ルール(詳細は省略というか、私が理解できていない!)に違反した場合は、そのランの検体測定値(偶然誤差や系統誤差)を報告しない。このルールの特徴は、①偽陽性の確率を小さくする、②異常検知の確率を大きくする、とのこと(すみません、こんな報告で……)。

教育セミナー I 「医療環境の変化に対応する病院検査室の戦略」講師はデイドベーリング株式会社 ヘルスケアソリューショングループ 松尾久昭先生→これは、一般的な話で(先生、ゴメンナサイ!)、ホントに省略させていただきます。

来年は日本医学検査学会が北海道で開催される事から、「マウレ」を一時休止するとのこと。 (終)



## ホスピスケア病棟に念願のピアノがやってきました！！

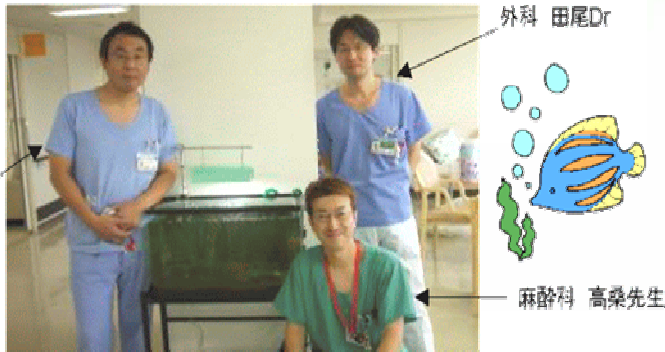
♪♪♪森下家のピアノが、今後はホスピスケア病棟で活躍されることとなりました。美しい調べでたくさんの患者さんの心を癒して下さるね。^^^

安全室森下さんの自宅で大切に使用していたピアノを快く寄付していただきました。自動演奏付きですばらしいピアノです。きっと多くの患者さんを癒してくれることでしょう。先日8階入院中の患者さんがホスピスへ申し込みされていました。ご家族はお嫁さんがピアノの先生をされていました。ご家族の「ピアノを聴かせたい」という願いと8階病棟のスタッフの提案により7階のピアノを囲み、家族と患者の最後の演奏会が開かれました。



## ホスピスケア病棟に念願の熱帯魚がやってきました！！

ホスピス病棟に絶対必要なものランキング上位を占めているのがなんと熱帯魚！みなさん中病に「水槽楽部(すいそうがくぶ)」という部があること…ご存知でしたか？3人のメンバーの皆様のご協力で熱帯魚・かわいらしいエビがやってきました。とくにエビはチョー癒し系ですよ。



使わなくなったピアノの行く先をいろいろ考えていたところ、ピアノの先生とホスピスケア病棟オープン話題になりました。「病院にピアノがあったら、私はボランティアで弾きに行くわ！」の先生の一声に、息子(小6)と相談して、寄付を決めました。息子も時々ボランティアで弾きに来るそうです。弾く人、聴く人、癒される人がいて、ピアノにとって一番良い選択肢だと確信しています。大事に長く使ってくださいね。

## ～技師川柳～

サラリーマンだけが辛いんじゃないっ！

技師だって川柳を詠んで

日常の悲喜交々を表現したいんだっっ！！

今月の技師川柳は北区検査室よりご投稿して頂きました。それぞれの句に注釈が付いてありましたので、詠んだ方の想いがダイレクトに伝わってきますね。特に最後の句は、5・7・5の17文字では気持ちが収まりきらなかったようで、さらに7・7を加え、「！」まで付けてくれました。患者さんを前に、奔走している姿が目に見えます。頑張っ！！

アナタも川柳を詠んで自分を解放してみませんか？

ふらすこ編集スタッフ一同心よりお待ち申し上げます！！

### ☆ 食後時間 聞いても頭に 入ってない

(繰り返し採血していると聞いたことすら忘れてしまいます。)

### ☆予約とる 怖い患者に 手が震え

(特に怖い患者さん、希望の検査日があいてないとだんだん怒鳴りそうで恐いです。)

### ☆採血待ち 順番くると ならまれる

(採血待ってる患者さん、視線が痛いです。)

### ☆やっぱ無理！患者心と 秋の空 勤務表とり すかさずダッシュ！

(5, 7, 5, 7, 7の川柳です。この日程じゃなきゃ来れない！と言われ勤務表をとりそれを見て予約枠を変更して対応しています。)